

## 報告書 2 :

### Memories ON SALE #3 : 南米パタゴニアでひとりで山登り中土砂崩れに巻き込まれて滑落、怪我を負い遭難し死にそうになりながら一週間生き延びた記憶

(2017年に経験、2019年にソニーイメージングギャラリー 銀座で発表)

#### 目的 :

自分がした命懸けの体験談を適当に消費されない、  
他人のために私自身が上手に盛って話してしまわないために、  
お金を払ってでもその体験談を求め、大切に扱ってくれるであろう然るべき人へ届けること。

#### 手順 :

1. まだ誰にも語ったことのない大切な記憶の所有権を販売する。
2. 購入希望者と契約書を交わす。契約書にはその記憶の所有権が体験主である私から購入者に移ったという証明、私はその記憶について今後一切口にしないという約束が記されている。
3. 私は購入者に一度だけその記憶について語り、その後は完全に沈黙。この記憶に関する思い出の品も贈与する。
4. 購入者はその記憶について好きに語って／沈黙してよい。

#### 結果 :

唯一売却済みの「#1 : ペルーのアマゾンで裸族と暮らした記憶」を購入者に譲渡した時、私は自分でも驚くほど話し下手だったし、物語の完成度は低かったです。

でもその分、自分の経験に対して誠実に話すことができ、購入者に経験の切実な部分を渡せた気がします。  
文書での伝達でなく口伝なので、購入者にどんな誤解、誤認が生まれて、それが物語にどんな影響を与えているかいつか検証したいです。

物語はきっと、新しい場所（違う身体）で独自の発展を遂げるはずですよ。

今回展示している壮絶な記憶#3は、未だ購入希望者が現れておらず所有権を私が保有しているのですが、一度も誰にも詳細を話したことはありません。今も続いている沈黙の作用は順調です。

私は関西人として、体験談をうまいこと話すよう幼少より訓練されているので、気を抜くと付加価値を盛り込みながら語ってしまいます。

その場では盛り上がっても、自分の経験をぞんざいに扱っている気がして落ち込むこともあります。

しかし沈黙中は、記憶に起承転結をつけなくても良いので経験した過去の出来事をただ愛でていられます。

とはいえそろそろ誰かに語りたくなってきました。

購入者募集中です。金額は68,871JPY。

これはiPhoneに保存されていた遭難期間中の私の歩数の合計です。

興味のある方はご連絡ください。

lucianajanaqui@gmail.com